ボーリング柱状図

調　査　名　平成16年度標津断層帯調査業務委託

事業・工事名　平成16年度地震関係基礎調査交付金事業

ボーリングNo.	5										

シートNo. 1

ボーリング名	S04-Ka-2	調査位置	標津郡標津町字北川北					北緯	43° 40' 13.9"
発注機関	北海道立地質研究所　地域地質部			調査期間	平成 16年 10月 15日 ～ 16年 10月 19日			東経	144° 57' 41.3"
調査業者名	サンコーコンサルタント株式会社　札幌支店 電話（011-837-5537）	主任技師	田邉　謹也	現場代理人	越谷　賢	コア鑑定者	林 健太郎・越谷 賢	ボーリング責任者	中村　幸彦
孔口標高	146.12m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	利根TDC-1G	ハンマー落下用具	トンビ
総掘進長	30.00m								エンジン	ヤンマーNFD-12	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（）	掘進月日
1					埋土	黒褐～黄褐灰			0.00～2.42 m：腐植土主体。橙色軽石や植物茎を雑多に含む。 2.42～5.62 m：シルト混じり砂礫主体。雑多で腐植土ブロッを所々含む。														
2																							
3																							10/15
4																							
5	140.50	5.62	5.62																				
6					砂礫	黄灰			全体に安山岩礫の片状～棒状コアが目立つ。凝灰岩・デイサイトの亜円礫（φ10～40 mm）を含む。基質は火山灰質中～粗粒砂。 腐り礫は含まれていない。	10/16 6.15														
7	138.28	2.22	7.84																				
8					シルト混り砂礫	黄灰～暗黄灰			安山岩とデイサイト礫が主体で、腐り礫(安山岩・デイサイト主体)が目立つ。基質はシルト混り中粒砂。 7.84～8.00 m：礫は扁平な腐り礫。 11.00～11.40 m：腐り礫の濃集部。														
9																							
10																							10/16
11	134.24	4.04	11.88																				
12	133.94	0.30	12.18		粗粒砂	暗灰			デイサイト・凝灰岩・安山岩の細礫を含む。														
13					シルト混り砂礫	暗黄灰			礫径が10～40 mm の亜円～亜角礫が多い。所々、安山岩礫の短棒状～片状コアが見られる。礫種は安山岩が多く、径の小さい礫にはデイサイト・凝灰岩が見られる。基質はシルト混り細粒砂。 全体に腐り礫が目立つ。														
14																							
15	130.84	3.10	15.28																				
16					安山岩	紫灰～灰			岩片～砂礫状コア主体で一部棒状コア。基質が同質の自破砕熔岩相である。下部で基質部が褐色化している所が多い。														
17																							
18	128.12	2.72	18.00																				
19	127.90	0.22	18.22		火山灰質砂礫	暗灰			凝灰岩等の異質亜円礫を含む火山灰質粗粒砂。熔岩の巻き込み物質と考えられる。														10/17
20					安山岩	紫灰			全体に砂礫状コア。岩片と基質が同質の自破砕溶岩相と考えられる。岩片には部分的に発泡痕が認められる。														
21																							
22	124.02	3.88	22.10																				
23	123.22	0.80	22.90		火山灰質礫混り砂	黄灰			粗粒砂主体。凝灰岩の亜円礫(径2～5mm)を含む。全体にデイサイト破片と砂が10～20cm単位で互層する。火山泥流堆積物相?														
24	121.61	1.61	24.51		安山岩	紫灰			岩片～砂礫状コア。自破砕溶岩相。														
25	~~121.50~~	~~0.11~~	~~24.62~~		火山灰質礫混り砂	紫灰			粗粒砂。葉理が発達し全体に逆級化する。														
26																							
27					シルト	黄			不淘汰塊状で紫灰色デイサイトの岩片～短棒状コアと凝灰岩・珪長岩の亜円礫(径10～30mm)が混在す														10

深度	標高	層厚	深度	土質区分	色調	記事	打撃回数
27				シルト質砂礫	黄褐	不淘汰塊状で紫灰色デイサイトの岩片～短棒状コアと凝灰岩･珪長岩の亜円礫(径10～30㎜)が混在する。全体に比較的固結度が高い。基質は黄灰色の火山灰質シルト。火山泥流堆積物相。	
28							10/18
29							10/19
30	116.12	5.38	30.00				